



【地元企業の技術者等による「匠の技継承講座」Ⅱ（1回目）】

《目的》

熟練技能者による実技指導を通して、社会で働く方々の技能の高さを実感するとともに、仕事に取り組む姿勢等を学ぶほか、溶接に関する基本的な技能を身に付ける。

《実施内容》

被覆アーク溶接、炭酸ガスアーク溶接の実技指導

《講師》

明比 良太 氏 今治造船株式会社

久保田武志 氏 株式会社新来島どっく

《取組》

- 日 時 平成29年7月13日(木) 1～4限目
- 場 所 今治工業高等学校 機械造船科実習棟
- 対 象 機械造船科2年生 1班8名
- 内 容 ・アーク溶接、炭酸ガスアーク溶接の作業要領等の説明及び講師実演
・溶接の実技指導



《講師の先生の助言・感想》

- ・失敗をしながら経験を積むことにより、技術を身に付けることができる。
- ・突き合わせ溶接では、ルート間隔の取り方や一層目の溶接等に注意すること。
- ・生徒は一所懸命取り組んでおり、教える側としてもやりがいを感じた。

《生徒の感想・学んだこと》

- ・プロの技を間近に見て、とても感動しました。また、失敗をしたときに、「失敗も経験。」「失敗も大切。」と言っていた事が、心に残りました。
- ・講師の方に教えていただいて、アーク溶接を行うときの角度・高さ・速度、ウィングビードの置き方を、具体的に理解することができました。

《SPH推進アドバイザー岡田さんの助言》

生徒は失敗を通して反省することの重要性を理解し、少しずつ良くなっていた。また、講師の実演を、身を乗り出して見入っている生徒の姿が印象的であり、講師の熱意を生徒は感じている様子であった。

《成果・今後の課題》

実施後の生徒アンケートからは、自分のスキルアップにつながったという思いや、社会人・職業人として働く意欲や情熱が著しく向上したという意識がうかがえました。この気持ちを、今後の取組につなげていきたいと思えます。

